

数学Ⅱ・B 第1問〔1〕

(1) $\sin \frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{2}$, $\cos \frac{\pi}{3} = \frac{1}{2}$, $\sqrt{1^2 + (\sqrt{3})^2} = 2$ であるから、三角関数の合成により

$$\begin{aligned} y &= \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta = 2 \left(\frac{1}{2} \sin \theta + \frac{\sqrt{3}}{2} \cos \theta \right) \\ &= 2 \left(\sin \theta \cos \frac{\pi}{3} + \cos \theta \sin \frac{\pi}{3} \right) = 2 \sin \left(\theta + \frac{\pi}{3} \right) \end{aligned}$$

と変形できる。

$0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のとき、 $\frac{\pi}{3} \leq \theta + \frac{\pi}{3} \leq \frac{5}{6}\pi$ であるから、 y は $\theta + \frac{\pi}{3} = \frac{\pi}{2}$ すなわち $\theta = \frac{\pi}{6}$

で最大値 2 をとる。

(2) (i) $p=0$ のとき $y = \sin \theta$

$0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ であるから、 y は $\theta = \frac{\pi}{2}$ で最大値 1 をとる。

(ii) $p > 0$ のとき

加法定理 $\cos(\theta - \alpha) = \cos \theta \cos \alpha + \sin \theta \sin \alpha$ を用いると

$$\begin{aligned} y &= \sin \theta + p \cos \theta = \sqrt{1+p^2} \left(\frac{1}{\sqrt{1+p^2}} \sin \theta + \frac{p}{\sqrt{1+p^2}} \cos \theta \right) \\ &= \sqrt{1+p^2} (\sin \alpha \sin \theta + \cos \alpha \cos \theta) \\ &= \sqrt{1+p^2} (\cos \theta \cos \alpha + \sin \theta \sin \alpha) \\ &= \sqrt{1+p^2} \cos(\theta - \alpha) \quad (\ast \textcircled{9}) \end{aligned}$$

と表すことができる。ただし、 α は

$$\sin \alpha = \frac{1}{\sqrt{1+p^2}} \quad (\ast \textcircled{1}), \quad \cos \alpha = \frac{p}{\sqrt{1+p^2}} \quad (\ast \textcircled{2}), \quad 0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$$

を満たすものとする。

$0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のとき、 $-\alpha \leq \theta - \alpha \leq \frac{\pi}{2} - \alpha$ であるから、 $\cos(\theta - \alpha)$ は $\theta - \alpha = 0$ すな

わち $\theta = \alpha$ で最大となる。 $\sqrt{1+p^2} > 0$ であるから、このとき y も最大となる。

よって、 y は $\theta = \alpha$ ($\ast \textcircled{1}$) で最大値 $\sqrt{1+p^2}$ ($\ast \textcircled{9}$) をとる。

(iii) $p < 0$ のとき

加法定理 $\cos(\theta + \beta) = \cos \theta \cos \beta - \sin \theta \sin \beta$ を用いると

$$\begin{aligned} y &= \sin \theta - (-p) \cos \theta = -(-p \cos \theta - \sin \theta) \\ &= -\sqrt{1+p^2} \left(\frac{-p}{\sqrt{1+p^2}} \cos \theta - \frac{1}{\sqrt{1+p^2}} \sin \theta \right) \\ &= -\sqrt{1+p^2} (\cos \beta \cos \theta - \sin \beta \sin \theta) \\ &= -\sqrt{1+p^2} (\cos \theta \cos \beta - \sin \theta \sin \beta) \\ &= -\sqrt{1+p^2} \cos(\theta + \beta) \end{aligned}$$

と表すことができる。ただし、 β は

$$\sin \beta = \frac{1}{\sqrt{1+p^2}}, \quad \cos \beta = \frac{-p}{\sqrt{1+p^2}}, \quad 0 < \beta < \frac{\pi}{2}$$

を満たすものとする。

$0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のとき, $\beta \leq \theta + \beta \leq \frac{\pi}{2} + \beta$ であるから, $\cos(\theta + \beta)$ は $\theta + \beta = \frac{\pi}{2} + \beta$ す

なわち $\theta = \frac{\pi}{2}$ で最小となる。 $-\sqrt{1+p^2} < 0$ であるから, このとき y は最大となる。

よって, y は $\theta = \frac{\pi}{2}$ (シ ②) で最大値 1 (ス ①) をとる。

別解 (iii) $p < 0$ のとき

加法定理 $\sin(\theta - \beta) = \sin \theta \cos \beta - \cos \theta \sin \beta$ を用いると

$$\begin{aligned} y &= \sin \theta - (-p)\cos \theta \\ &= \sqrt{1+p^2} \left(\frac{1}{\sqrt{1+p^2}} \sin \theta - \frac{-p}{\sqrt{1+p^2}} \cos \theta \right) \\ &= \sqrt{1+p^2} (\cos \beta \sin \theta - \sin \beta \cos \theta) \\ &= \sqrt{1+p^2} (\sin \theta \cos \beta - \cos \theta \sin \beta) \\ &= \sqrt{1+p^2} \sin(\theta - \beta) \end{aligned}$$

と表すことができる。ただし, β は

$$\sin \beta = \frac{-p}{\sqrt{1+p^2}}, \quad \cos \beta = \frac{1}{\sqrt{1+p^2}}, \quad 0 < \beta < \frac{\pi}{2}$$

を満たすものとする。

$0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のとき, $-\beta \leq \theta - \beta \leq \frac{\pi}{2} - \beta$ であるから, $\sin(\theta - \beta)$ は $\theta - \beta = \frac{\pi}{2} - \beta$

すなわち $\theta = \frac{\pi}{2}$ で最大となる。 $\sqrt{1+p^2} > 0$ であるから, このとき y も最大となる。

よって, y は $\theta = \frac{\pi}{2}$ (シ ②) で最大値 1 (ス ①) をとる。